



現代日本学プログラム課程創設記念

東日本大震災からの復興に係る講演会の開催について（お知らせ）

開催概要：このたび、東日本大震災からの復興をテーマとして、以下のとおり講演会を開催します。東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方の復興に関わっている様々な分野の方々から、それぞれの取り組みや経験についてご講演いただきます。特に、第 4 回目は、“Australia and Japan - relationships for the future : Tohoku, a case study”（オーストラリアと日本～ケーススタディから見る将来の二国間関係）と題して、ブルース・ミラー駐日オーストラリア大使館 特命全権大使にご講演いただきます。本学教職員や将来国際協力の舞台での活躍を目指す本学学生、また一般市民にも興味深い講演となる予定です。

なお、本講演会は平成 27 年 4 月から新たに開始される「現代日本学プログラム課程」の創設記念講演会の一部として実施されます。（第 1 回、2 回は終了しました。）

全体テーマ：

“Reconstruction in Tohoku as experimental ground for pioneers? Current projects, challenges and perspectives”（東北の復興～現在の先駆的なプロジェクト、挑戦、今後の展望）

【第 3 回】

日時：平成 27 年 2 月 3 日（火）16：30～18：00

場所：北海道大学国際本部 2 階 大講義室（札幌市北区北 15 条西 8 丁目）

主催：北海道大学国際本部

参加対象：講演内容に関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

言語：英語

プログラム：

開会挨拶 Susanne Klien（北海道大学国際本部留学生センター 准教授）

講演 1 “Service Learning in Tohoku : Oral Narratives of 3.11”
David Slater（上智大学 教授）

講演 2 “Fukushima Mothers : Fear, Evacuation and Mobilization”
弾塚 晴香（東京大学大学院）

講演 3 “Overcoming obstacles in the aftermath : the IDRO’ s missions and challenges”
Robert Mangold（国際災害支援機構日本(IDRO-Japan)代表）

【第4回】

日時：平成27年2月5日（木）15：00～16：30

場所：北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室（札幌市北区北17条西8丁目）

主催：北海道大学国際本部

参加対象：講演内容に関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

言語：英語

プログラム：

開会挨拶 Philip Seaton（北海道大学国際本部留学生センター 教授）

講演 “Australia and Japan - relationships for the future : Tohoku, a case study”

（オーストラリアと日本～ケーススタディから見る将来の二国間関係）

ブルース・ミラー 駐日オーストラリア大使館 特命全権大使

申込方法：

当日参加も可能ですが、希望日時及び氏名を明記の上、以下担当まで事前にご連絡をお願いします。

北海道大学国際本部国際教務課現代日本学プログラム担当

E-mail : mjsp_event@oia.hokudai.ac.jp TEL : 011-706-8045

（参考）現代日本学プログラムとは：

本プログラムは、現代日本の社会や文化に関心を持つ留学生を広く世界に求め、十全な英語能力と極めて高い学力を有する留学生に対して、基礎・教養科目を英語で実施するとともに、徹底した日本語教育を実施し、同時に現代日本の社会や文化に関する理解を深めるための教育を行います。日本社会に対する優れた見識を有し、日本社会のみならず国際社会においても真に日本のよきパートナーとして活躍するグローバル人材を養成する教育プログラムです。

また、日本人学生をグローバル人材として育成する特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」とも連動し、日本人学生と現代日本学プログラム課程の外国人留学生等がともに学ぶ授業科目の増加を図ることにより、学士課程教育全体のグローバル化を推進します。

組織：外国人留学生を対象とする学士課程プログラム。定員は1学年20名。

開始時期：現代日本学プログラム課程は平成27年（2015年）4月、予備課程は平成26年（2014年）10月から開始。

※予備課程では、北海道大学日本語研修コースにおいて、学士課程入学前の6ヶ月間、基礎的な日本語能力を身に付けるための初級日本語教育を行います。入学試験の際に、すでに一定程度の日本語能力があると判断された学生は、予備課程が免除される場合があります。

お問い合わせ先

北海道大学国際本部国際教務課現代日本学プログラム担当

TEL: 011-706-8045 FAX: 011-706-8067 E-mail: mjsp@oia.hokudai.ac.jp

○ MJSP Inaugural lectures

Reconstruction in Tohoku as experimental ground for pioneers? Current projects, challenges and perspectives



January-February 2015, Tuesdays 4:30-6pm, OIA (except the last lecture)

20

January 2015



Work Style 2.0 after 3.11 /
3.11 以後に生まれた働き方 2.0
Iida Akio / Producer, Art buyer,
DENTSU razorfish

Fukushima and Furusato:
Rural Community after Nuclear
Disaster

Dr. Tom Gill / Meiji Gakuin University

27

January 2015



Ishinomaki laboratory:
Fun rather than common sense /
石巻工房：常識に囚われず、楽しむ
Chiba Takahiro / COO
Ishinomaki Laboratory

Ishinomaki laboratory:
A "unique" phoenix venture born
in the disaster area

Matsuzaki Ben / President
Herman Miller Japan

3

February 2015



Service Learning in Tohoku:
Oral Narratives of 3.11
Dr. David Slater / Sophia University

Fukushima Mothers: Fear,
Evacuation and Mobilization
Haruka Danzuka, Tokyo University

Overcoming obstacles in the aftermath:
the IDRO's missions and challenges

Robert Mangold, Founder of International
Disaster Relief Organization Kyoto

5

February 2015,
3pm

Location:
Hokkaido University
Joho Kyoikukan 3F

Australia and
Japan –
relationships for
the future:
Tohoku, a case
study



H.E. Mr. Bruce Miller,
Australian Ambassador to Japan



All lectures will be in English or interpreted from Japanese and will be followed by Q&A.

Location: Office of International Affairs, 2F, Lecture Room L1 (209)

All lectures are free to attend, but prior registration with your name by e-mailing
mjsp_event@oia.hokudai.ac.jp is much appreciated.

Questions to: mjsp_event@oia.hokudai.ac.jp Organization/coordination: Susanne Klien, MJSP